

# B細胞性リンパ腫 再発 R-Cladribine療法

患者ID : @PATIENTID

1 コース目

患者氏名 : @PATIENTNAME

1コース : 28日間

目標 : 4コース

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m <sup>2</sup> )
HEIGHT01_Do	WEIGHT01_Do	#VALUE!

使用薬剤 : リツキシマブ (Rituximab) : リツキシマブBS注 100mg/10mL/V、500mg/50mL/V  
 クラドリビン (2-CdA) : クラドリビン 8mg/8mL/V

使用基準 : CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫

- ※ **Infusion reaction**に要注意。リツキシマブBS投与時はモニターによるバイタルチェックを推奨。  
 重度のInfusion reaction(低酸素血症、肺浸潤、急性呼吸促拍症候群、心筋梗塞、心室細動、心原性ショック)の発現の報告が**初回の投与中又は投与開始後24時間以内**に多い。約90%の患者で初回投与時に発現。
- ※ **腫瘍崩壊症候群**に要注意 (血液中に大量の腫瘍細胞のある患者で初回投与後24時間以内に高頻度)  
 腎不全、高K血症、低Ca血症、高尿酸血症、高Al-P血症
- ※ HBc抗体測定し、陽性ならTaqMan HBV検査までおこなうこと

薬剤	投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
リツキシマブBS	375 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1
クラドリビン	0.12 mg/kg	#VALUE!		2 ~ 6

## << タイムスケジュール >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日 (Day1) : 1月1日 (金)

点滴前内服

- ① カロナール錠 200mg 2 T 1 x (1)
- ② ポララミン錠 2mg 1 T 1 x (1)

0時00分

- ① 生理食塩液 100mL + サクシゾン 300mg  
30分で点滴静注

0時30分

- ② 5%ブドウ糖液 0mL  
+ リツキシマブBS注 0mg 0.0mL

- ↓ 50mL/hrで30分点滴静注
- ↓ 患者の状態を観察しながら、30分毎に50mL/hrずつ上げることができる
- ↓ 最大400mL/hrまで上げることができる
- 徐々に投与速度を上げて点滴静注
- ※下記は2回目以降の投与
- ↓ 100mL/hrで30分点滴静注
- ↓ 患者の状態を観察しながら、30分毎に100mL/hrずつ上げることができる
- ↓ 最大400mL/hrまで上げることができる

②終了後

- ③ 生理食塩液 50mL  
フラッシュ

Day 2~6

1月2日

(土)

~

1月6日

(水)

0時00分

- ① 生理食塩液 50mL + グラセトロン 1A  
15分で点滴静注

0時15分

- ② 生理食塩液 500mL + クラドリビン 0.0mL  
2時間で点滴静注

2時15分

- ⑦ 生理食塩液 50mL  
フラッシュ

## REFERENCE

Tadeusz Robak, Piotr Smolewski, Barbara Gebula et al : Cancer 2006; 107:1542-50

Rituximab combined with cladribine or with cladribine and cyclophosphamide in Heavily pretreated patients with indolent lymphoproliferative disorders and mantle cell lymphoma

2011年10月度化学療法プロトコール審査委員会承認：2011年10月17日 更新：2018年9月10日